

作成日: 1998 年 8 月 20 日
改訂日 (V. 8): 2014 年 6 月 27 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: コテツフロアブル

会社名: 日本農薬株式会社
住 所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋OMビル
担当部門: 環境安全部
TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
(休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)
推奨用途及び使用上の制限: 農薬(殺虫剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
S D S 番号: 5 1 0 - 0 6 (M O 2 - 2 7)

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

健康有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分 4
	皮膚感作性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分 1
	水生環境有害性(慢性)	区分 1

G H S ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

警告
吸入すると有害
飲み込むと有害
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 保護用手袋/衣服を着用してください。
- 埃を吸わないように注意してください。
- 取扱い後は、多量の水と石鹼でよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】

- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 漏出物を回収すること。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 口をすすぐこと。

【廃棄】

- 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

他の危険有害性：12 章の PBT (難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質) と vPvB (難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質) の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

4 - ブロモ - 2 - (4 - クロロフェニル) - 1 - エトキシメチル - 5 - トリフルオロメチル
ピロール - 3 - カルボニトリル (一般名 クロルフェナピル、コテツ)

成分及び含有量：

成 分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
クロルフェナピル	10.0%	122453-73-0	8-(1)-2298	(5)-6557
〈その他〉				
プロピレングリコール	<10%	57-55-6	2-(8)-321	(2)-234
イソチアゾリノン誘導体	<0.005%	55965-84-9	既存物質	(9)-378
			既存物質	(5)-5235
水、界面活性剤等	残	—	—	—

4. 応急措置

一般的なアドバイス：汚れた衣服は取り替える。

吸入した場合： 安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：石鹼と水で完全に洗い流すこと。

眼に入った場合：直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、200 - 300 mL の水を飲み、医者の診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項：

- 症状： 最も重要な症状や影響はラベル(第 2 章を参照)や第 11 章に記載されている。その他の重要な症状や影響は今のところ知られていない。
- 処置： 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 噴霧水、二酸化炭素、泡、粉末

特有の危険有害性：一酸化炭素、酸化窒素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物。火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

消火を行う者の保護具：自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

追加情報： 汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。
火にばく露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項: 排水溝等に流出させない。土壌中に放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する(例: 砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。
容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。清掃作業は、呼吸保護具を着用して行なうこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。作業後に手洗い、洗眼をする。

保管: 食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性: 保管期間: 24 月
表示温度以下にならないように保護すること: 0 °C
本品は限界温度以下では結晶化する可能性がある。
表示温度以上にならないように保護すること: 40 °C
もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具:

呼吸用保護具: 高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具: 複合フィルター EN14387 タイプ ABEK (有機、無機、酸性無機及びアルカリ性化合物のガス/蒸気)

手の保護具: 長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN374) (保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN374 によると、透過時間は 480 分以上であること): ニトリルゴム (0.4mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

眼の保護具: サイドシールド(フレームゴーグル) (EN 166 準拠) 付き安全眼鏡

皮膚及び身体への保護具: 作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等(飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う)。

一般的な安全及び衛生対策:最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状: 懸濁液
 色: オフホワイト色
 臭い: かすかな臭い、ビターアーモンド様の臭い
 臭いのしきい値: 吸入による有害性のため、決められていない。
 pH: 約 6 - 8 (1 % (m)、約 21 °C)
 凝固点: 約 0 °C (1,013.3 hPa)
 情報は溶媒に適用される
 沸点範囲: 約 85 - 100 °C (1,013.3 hPa)
 情報は溶媒に適用される
 引火点: 約 102 °C (EU 指令 84/449/EEC、A. 9)
 引火点なし。表示の温度まで測定したが、種火が消える。不燃性である。
 蒸発率: 適用せず
 引火性 (固体/ガス): 可燃性低い。
 爆発範囲の下限: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
 爆発範囲の上限: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
 発火温度: 約 520 °C (EU 指令 92/69/EEC、A. 15)
 水含有量に基づくと、製品は、引火しない。
 熱分解: 252 °C、240 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))
 310 °C、130 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))
 450 °C、> 90 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))
 爆発危険有害事項: 化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
 火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。(EU 指令 2004/73/EC、A. 21)
 蒸気圧: 約 23.3 hPa (20 °C)
 情報は溶媒に適用される。
 密度: 約 1.07 g/cm³ (20 °C) (OECD テストガイドライン 109)
 相対蒸気密度 (空気): 適用せず
 水に対する溶解性: 分散可能
 n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): 適用せず
 動的粘度 (動粘性係数): 約 68 mPa·s (20 °C) (OECD テストガイドライン 114)

その他の情報: 必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件: 製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 252 °C、240 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))
 熱分解: 310 °C、130 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))
 熱分解: 450 °C、> 90 kJ/kg (DSC (OECD テストガイドライン 113))

混触危険物質: 強酸, 強塩基, 強酸化剤

危険有害な分解生成物：指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

危険分解物： 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

1 1. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価：単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。単回摂取後、中程度の毒性を示す。短期間の吸入により中程度の毒性。

実験または計算によるデータ：

急性経口毒性：ラットLD₅₀値 (mg/kg) > 500 - < 2000
(OECD テストガイドライン 423)

急性経皮毒性：ラットLD₅₀値 (mg/kg) > 5000 (死亡なし)
(OECD テストガイドライン 402)

急性吸入毒性：ラットLC₅₀値/4hr (mg/L) 2.62 (エアゾールで試験した。)
(OECD テストガイドライン 403)

刺激性

刺激性作用の評価：眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。

実験または計算によるデータ：

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：ウサギ (OECD テストガイドライン 404)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：ウサギ (OECD テストガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。皮膚接触により感作の可能性がある。

記載物質に関する情報：イソチアゾリノン誘導体

実験または計算によるデータ：

モルモット：皮膚感作 (Open epicutaneous 法 (OET))

マウス：皮膚感作 (マウスの局所リンパ節試験 (LLNA))
(OECD テストガイドライン 429)

文献データ

生殖細胞変異原性

変異原性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：イソチアゾリノン誘導体

変異原性の評価：この物質は、細菌及び培養細胞を用いた各種試験系で変異原性を示したが、これらの結果は哺乳動物を用いた試験では認められなかった。

発がん性

発がん性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発がん効果の兆候を示さなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：イソチアゾリノン誘導体

催奇形性の評価：この物質は動物実験では奇形を引き起こさなかったが、親動物に対して毒性を示すような高用量では発生毒性が認められた。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。
動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

1 2. 環境影響情報**環境毒性**

水生生物に対する毒性の評価：水生生物に猛毒である。水生環境に長期の悪影響を及ぼす恐れがある。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：クロルフェナピル原体

ニジマス	LC ₅₀ 値/96hr	0.00744 mg/L
		(EU指令84/449/EEC、C. 1)

ミシッドシュリンプ	EC ₅₀ 値/96hr	0.00203 mg/L
		(EU指令 84/449/EEC、C. 2)

緑藻	EC ₅₀ 値/72hr	0.132 mg/L
		(OECDテストガイドライン201)

移動性

環境区分間の輸送評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：クロルフェナピル原体

環境区分間の輸送評価：土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：クロルフェナピル原体

生分解性及び除去率の評価（水中環境）：容易に生分解性されない（OECD基準による）。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：クロルフェナピル原体

生体蓄積性：生物濃縮係数：116、コイ
生体蓄積性はないと考えられる。

追加情報

その他の環境毒性情報：前処理なしに河川等に流してはならない。

1 3. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

汚染された容器：使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号 : 3082
品名 (国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(contains chlorfenapyr)
国連分類 : 9
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当
緊急時応急措置指針番号 : 151

15. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法 : 劇物

労働安全衛生法

表示対象物 (法57条) : 該当せず。

通知対象物 (法57条の2、施行令18条の2) : 該当せず。

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

指定化学物質 : 該当せず。

16. その他の情報

参考文献 : 安全データシート「コテツフロアブル バルク」(BASFジャパン(株) 2013 年10月30日改訂)

本データシートの記載内容は、この製品の取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取り扱いには充分注意を払って下さい。